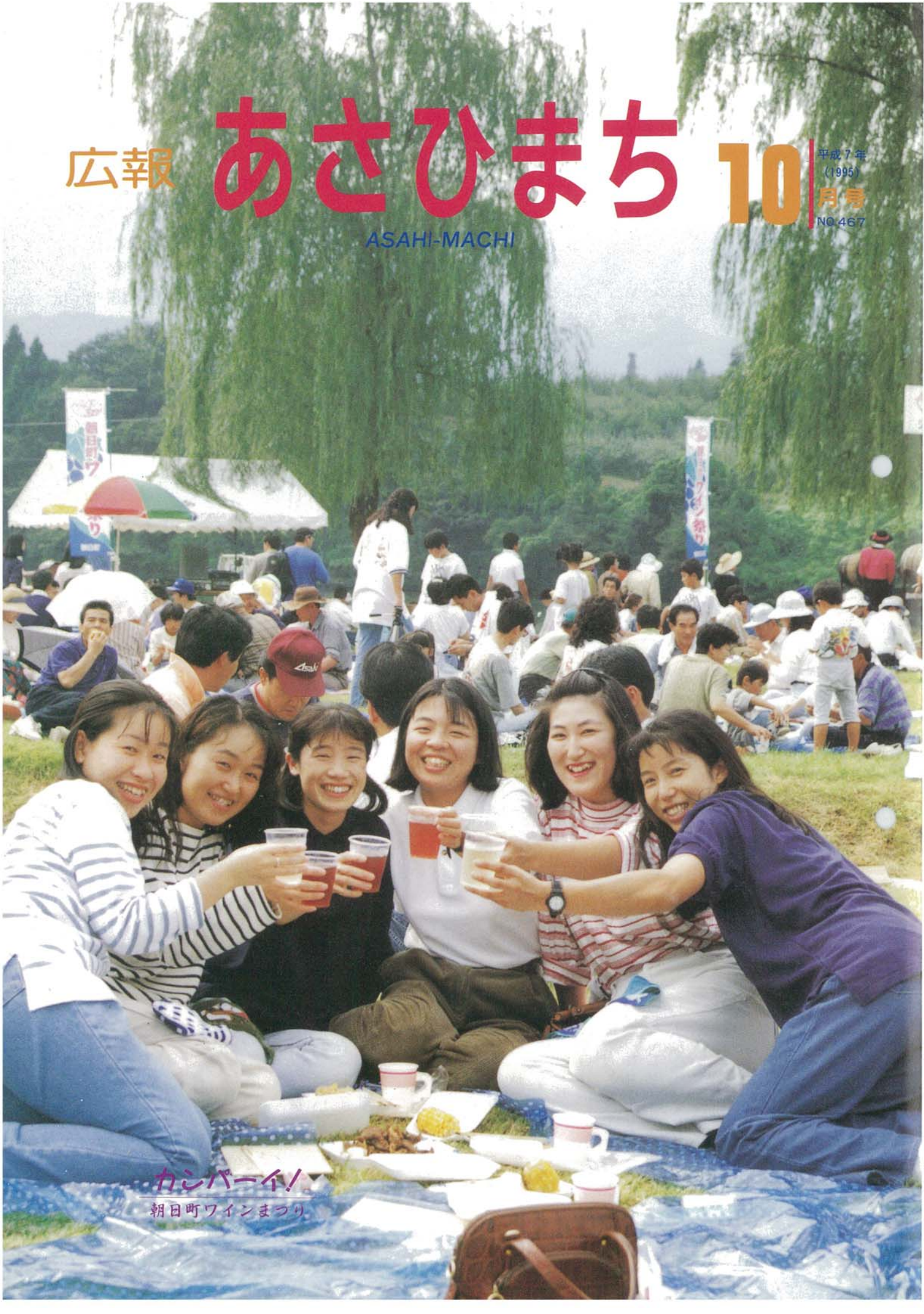
広報

あさひまち

ASAHI-MACHI

10

平成7年
(1995)
月号
NO.467



カンパーイ！
朝日町ワインまつり

田舎暮らしはおもしろい！

転入者が語る町の魅力

最近、都会から「田舎暮らしがしたい」「農業をやりたい」と、朝日町に憧れ移り住んできている人が増えています。そこで、転入された方の中から三家族に、朝日町の魅力や住んでみての感想、きっかけなどについて話を伺ってみました。

今に都会の人もみんな 田舎を向きはじめるよ

■吉村裕さん一家（夏草・大阪より転入）

以前、私はピアノの調律師、妻は保母をしていましたが、田舎暮らしだけじゃなくて、家族の絆がはっきり見える、農業そのものをやりたかったんです。

この土地には、平成五年の五月に自分だけで来た後、十一月と一月に家族で見に来ました。そのときは花も実もない時期で、りんごのことを何も分からない私たちには、ただの枯れ木に見えました。ほんとうに実がなるのかなぁって―。

りんご農園をやるって言ったら、みんな笑って顔を見ましたよ。本気かなって。不安もありましたが、来て本当に良かったと思っています。仕事は、そり

手づくりのアトリエで地域の人と交流

■小崎強さん一家（大暮山・神奈川より転入）

四十年のサラリーマン生活を終え、昨年の五月に転入してきました。退職後は「田舎で暮らしたい」「山に入って好きな絵を描きたい」と前々から思っていたんです。どこかいい所がないかと、方々を探し歩きましたが、朝日町が一番。特に大暮山はいいですね。寒河江まで二十分と便利、しかも自然がいっぱいで果物もおいしく、暮らすには最高ですよ。こちらに来て一番強く感じたことは、大暮山の子供たちは、素直で明るく伸び伸びしていることです。どこで会っても交わしてくれる挨拶は、さわやかで気持ちがいいですね。

地域の人が気軽に集まれる場所、絵をみながらクラシックを聴いたり、コーヒーなどが飲める場所があればと、八カ月をかけて自分で小屋を改築しました。二階はアトリエ、一階は煉瓦をふんだんに使い、暖炉などもある喫茶店風につくったんです。

水滸伝にでてくる「梁山泊（りょうざんぱく）」と名付け、地域の人に自由に使ってもらっています。この前も運動会の二次会をやったんですよ。みんな「別世界のようだ」と喜んでくれました。

十年前に第一回全国日曜画家コンクールで、最高の特賞をいただき、今年は県美展で入選しました。中央公民館の小さな美術館に、十月いっぱい作品を展示していますので、ぜひ見ていただきたいですね。

家族と一緒にできるりんごづくりは最高です

■館山正己さん一家（松原・東京より転入）

ずっと農園暮らしに憧れていたんです。ここにくる前の仕事は営業職でした。農園をやってみて、やっぱりこれで良かったと思いました。一番感じるのは、家族と一緒にできる幸せです。みんなが力を合わせないと出来ない幸せっていうのかな。

一度やったら、もうサラリーマンには戻れないですよ。生活が人間中心ですし、これほど季節感のある仕事はないと思います。いつも自然を体で感じていますから。

二年たってやっと、やりようで何とかやっていけるという手応えです。昨年のりんごは良かったですよ。でも、りんごの出来に波があるんです。持続して良いりんごを作るのが、プロだと思っています。農協の営農課が全面的に面倒を見てくれ、町ぐるみで応援してくれるので、きっとやれると思っています。

子供についても、今はどこにいても交通の便や教育が行き届いているので、心配はしていません。おじいちゃんもおばあちゃんも、後からみんなこちらに来ました。孫かわいさからだけど、喜んで暮らしています。来て良かったと言ってくれています。

「ずいぶん稼いでいるなぁ、幸せそうだなぁ」って、早く人に妬まれたいですよ。「たいへんだな、がんばれよ」って同情されているうちは半人前。妬まれて一人前ですから。

これはすごい！ 救急車に心電図を装備

消防署朝日分署の救急車に心電図が装備され、九月八日行われた救急行事で披露されました。

この心電図はプロパックと呼ばれるもので、脈拍や血圧も瞬時に測定できます。この貴重なデータを病院到着後に医師が判断。一刻を争う場合にも、迅速な医療処置ができるようになりました。

この日は、一日救急隊長に鈴木好子さん（栄町）と志藤裕子さん（元町）の二人が任命され、日夜活躍している救急隊員を激励しました。

当日は保育園児たちも参加。酸素吸入装置や、異物を食道から出す吸引器といった〝最前線〟の救命器具の説明に、真剣に聞き入っていました。園児がけがをしたという想定で行われた救急模擬訓練では、さっそくプロパックを使用。心電図や脈拍を計ったり、きびきびと行動する救急隊員に「カッコイイー」と、目を輝かせていました。

昨年の町内の救急出動件数は二百二件で、町民のおよそ五十人に一人が、救急車で搬送されたことになります。久保田朝日分署長は「救急車が到着するまでに、応急処置をするのと、しないのとでは、助かる率が倍以上違います」と、家族の大切な命を救う応急処置の必要性を訴えていました。

白田鴻秋（大谷出身） ふるさと民謡ショー

埼玉県在住で民謡歌手として活躍されている白田鴻秋さんの「ふるさと民謡ショー」が九月十五日、秋葉山交遊館を会場に行われました。秋葉山交遊館の落成を記念して、入場無料で開催されたものです。「鴻秋白菊会」の五人が出演し、最上川舟唄や黒田節などを熱唱。詰めかけた大勢の観衆は「さすがうまい」と感嘆の声を上げ、盛大な拍手をおくっていました。

町の話題

車いすを体験
介助の仕方を学ぶ

九月二十八日、「車いすの人が困っていたら、どうするかの講習会」が、中央公民館ロビーを会場に行われました。朝日町連合青年団が主催したもので、小学生や青年、実際に家庭で車いすを使っている人の家族など、十五人が参加しました。

車いすの操作や階段での介助の仕方の説明を受けた後、実際に車いすに乗り、中央公民館前のスロープを体験したり、介助する側とされる側になってみたり、思い思いに車いすを体験してみました。

一般家庭と同じ幅の廊下を曲がることにも挑戦しましたが、かなりむずかしそうでした。体験後、参加者たちは「ゆるやかなスロープでも意外と大変なことや、介助される側も恐いことが身をもって体験できた」「段差は体の不自由な方にとって、最大の難関。この体験を生かして、これから少しでも役に立ちたい」と感想を語っていました。

女優　正司歌江さんが講演
健康と福祉のつどい

「健康と福祉のつどい」が九月二十九日、中央公民館で開かれました。今年で四回目の開催。健康チェックコーナーでは、成人病の原因とも言われる体内脂肪、骨密度、血圧などを測定。瞬時にでてくる結果を見ては、日頃の健康管理の大切さを再認識していました。

午後からは、かしまし娘でおなじみの女優、正司歌江さんが「明日に生きる」と題して講演。正司さんはリューマチにかかっているにも拘わらず、運動を欠かさず体を動かし毎日元気に働いているとのことで、「健康は自分で管理することです」と強調。ユーモアたっぷりに「高齢者が多いのではなく、寿命が伸びたのです。みんな仲良く長生きしていこう」と、参加者約三百人に語りかけていました。

町議会

9月定例

九月定例町議会が九月十八日から二十二日まで開会されました。第四子以降の出産祝い金の増額や、新規学卒者就職祝い金を町内、町外とも同額にするといった条例改正など、十五議案が上程され、すべて原案どおり可決されました。町政報告を含めた主な内容は次のとおりです。

■人事

・町教育委員会委員の任命

現委員の長岡京子氏（西町）が任期満了となるため、長岡一美氏（前田沢）を新たに任命することに同意されました。

・人権擁護委員の推薦

増員が認められたため、阿部良子氏（元町）を推薦することについて可決されました。

■条例改正

・朝日町定住化促進条例の一部改正

【新規学卒者の地元就職祝い金】

来年の四月一日より町内、町外ともに十万円に統一されることになりました。

【第三子以降の出産祝い金】

今年の十月一日より第三子が十万円、第四子は二十万円になりました。

■補正予算

・一般会計（第三号）

歳入歳出にそれぞれ一億二千五十万円を追加し、総額で六十億三千八百三十万円になりました。

■決算認定

・平成六年度一般会計並びに集落排水事業、朝日自然観事業、国民健康保険、老人保健の四つの特別会計と水道、病院事業の二つの企業会計の決算が認定されました。

町政報告

【総務課】

平成七年度の普通地方交付税は、二十五億四千九十五万一千円で、前年対比三・二％の増加となりました。

職員採用については十一人の応募があり、第一次試験を九月十七日に、県内市町村職員採用統一試験により実施しました。

行財政改革については、今年度中に全体的に見直しを図るため、八月二十一日に町長を本部長とする、行財政改革推進本部を設置しました。

まちづくり寄付金として東京在住の熊谷信雄氏より百万円、同じく東京在住の方で匿名で百万円、寒河江市の管野測量設計事務所より二十万円、町内真中の遠藤清蔵氏から百二十万円を寄贈していただきました。

【企画商工観光課】

㈶自治総合センターのコミュニティー助成事業で、常盤区の子供みこしの購入に百二十万円の助成を行いました。

志藤六郎村おこし基金補助金の交付については六件の申請があり、運営委員会で慎重に審議の結果、五件を決定しました。

登山バスは集中豪雨による道路の崩壊もあり、八月十日運行を打ち切ったところです。

雇用促進住宅利用状況は、九月一日現在八世帯の入居となっており、入居促進についてハローワークと連携をとりながら、努力してまいります。

【建設課】

国道二八七号和合バイパスについては、岩坂橋からアップルラインの所まで、平成九年度には着工になると聞いております。工事関連で家屋移転を必要とする方の住宅用地については、西村山西部土地開発公社が事業主体となり、用地を取得し八年度に造成分譲の計画です。

町道西町西原線の道路改良工事は現在、舗装工事を施工しております。

合併処理浄化槽の今年度の進捗率は、現在のところ計画基数の五〇％と低調のため、設置希望者の募集に努力しているところです。

【農林課】

和合平地区青年等農業者研修施設は、十一月三十日の完成に向け着工しております。

朝日町ワイン・ブランデー製造の蒸留施設（建物）及び環境整備工事を、一千四百十一万一千円で小野建設㈱が落札し、完成は十月十五日の予定です。

林業構造改善事業林道大船木線の本年度開設分二二〇mについて、大東建設㈱が一千九百八十七万九千円で落札いたしました。工期は十二月二十八日です。

昨年より農業研究所が窓口となり進めておりました、宮城県唐桑町との海と山の交流で、七月二十九日から二日間、唐桑町の港祭りに参加し、朝日町の特産物の紹介と販売を行いました。

【住民課】

環境衛生関係で「容器包装リ

道路改良が進められている町道西町西原線

サイクル法」が公布され、平成八年度から実施されるため、町としても分別収集計画を策定する考えです。

交通安全関係については、八月末に減速マークや一時停止の路面表示の工事を行うなど、事故撲滅の対策を講じております。

双葉住宅団地内に、朝日町体験研修施設を二棟建設中です。

結婚、後継者対策として、六月に仙台市内の独身女性との交流会を実施しましたが、さらに十月にも行う予定です。

八月に初めて若い奥さん方からお集まりいただき、「女性たちの井戸端会議」を開催し、町政に対しての提言など活発なご意見をいただきました。

【健康福祉課】

西村山広域事務組合に九月より巡回入浴車一台が増車になり、入浴回数を多くできるようになりました。

ひとり暮らし高齢者の健康を守るため、社会福祉協議会の事業として、五十五人の希望者に対して給食サービスを、地区民のご協力を得ながら実施しているところです。

「ふれあい荘」については、定員五十人の入所が完了しております。デイサービスについては、利用申し込みが少ない状況にありますので、利用者の拡大に努めてまいります。

この春に設立された高齢者事業団の状況ですが、会員数は六十一人で、これまでの延べ稼働人数は二百八十人、事業収入は約百二十万円となっております。

【管理課】

教育効果を高める教育機器の整備を図るため、このほど分校を含む十四校全校に、それぞれ一台ずつパソコンを配置いたしました。順次年次計画で充実して行く考えです。

【生涯学習課】

町民プールの本年度の利用者数は、七千八百五十五人となっています。文化財保護関係では「大沼の浮島」の保存修復事業として排水路工事をまもなく発注する予定です。

旧西部公民館跡地の西部地区コミュニティー広場工事は、九月十八日に入札したところです。

【朝日自然観】

八月までの入り込み客数は、六万七千五百人で前年比〇・七%の増となっています。七月二十八日より新築したコテージの営業を開始しましたが、宿泊予約も順調で、お客様より好評を得ているところです。

ユーユーリフト建設は、工期を十二月八日までとし、順調に工事が進んでおります。

【朝日病院】

医師住宅三号官舎新築工事は、九月二十日に完成の予定です。

山形大学医学部第二内科の人事異動により、十月一日付けで照井有紀先生から藤嶋昌一郎先生に異動することになりました。

【水道事業所】

七月十一日の大雨による土砂崩れで、一ツ沢水源導水管が流失し、西部及び上郷方面の皆様に大変ご迷惑をおかけし、誠に申し訳なく思っております。

〝町長在庁の日〟記録帳から

毎月第２火曜日を「町長在庁の日」に指定し、町民のみなさんから相談やご意見等をお聞きしております。４月号にも掲載しましたが、その後の「町長在庁の日」での主な内容について、お知らせいたします。

◆要望的事項について

最も多いのが町道や水路整備ですが、区道の新設や改良への援助、国道や県道では歩道や信号機の設置、カーブ改良などの要望があります。

屋内ゲートボール場や文化会館の早期建設、幼児学級の開設、保育料がもう少し安くなるよう、見直してほしいなどの要望があります。

◆相談的事項について

モデル事業が完成しましたが、取り付け箇所に少し不便な所があるので、改良していいだろうか。

万一、ダム（上郷・木川など）が決壊したら、どう避難すれば良いだろうか。その手引などありますか。

区民待望の事業が完成し、記念碑を建立したいのですが、その設置場所についての相談。

ひとり暮らしのお年寄りに、社会福祉協議会で緊急通信装置を設置していますが、いざという時に自動的に通報される連絡先に、留守にならない消防署とか特老センターを入れてもらえませんか。

◆提言やご意見など

各集落にある半鐘を、サイレンにしたらどうか。

小学校の統廃合について、地区民や児童の両親との話し合いを十二分にやるべきである。

財政面の苦しさは痛いほど分かるが、花火大会ぐらいパっとしないと、町民の心が沈んでしまう。

お祭りの時ぐらい、ワインを他町村より安く販売してほしい。社長である町長の決断を示せ。

自然観へ行く道路を、アジサイやコスモスなどの、花街道にしたらどうか。

◆これらは「町長在庁の日」の記録帳から抜粋したものです。直接相談したいことや、提言などがありましたら、お気軽においでください。（町長）

▲朝日牛700Kのボリュームたっぷりのバーベキュー

食欲の秋を満喫

第16回 朝日町ワインまつり

秋の行楽シーズンを迎えた九月二十三日、恒例の「朝日町ワインまつり」が上郷ダム公園で開かれ、家族連れら約二千人でにぎわいました。牛の丸焼きも用意され、ワイン約二千リットルが飲み放題。参加者たちは、さわやかな風の吹く湖畔でバーベキューを楽しみながら、おいしいワインやぶどうジュースを味わい、満足した様子でした。

カメラさんぽ

▲ダム湖畔も美しいワインまつりには2,000人が参加

▲「ようこそいらっしゃいました」ワイン娘に迎えられ、さっそく入場

▼特産品コーナーではりんごやぶどうも飛ぶように売れた

▲この肉焼けたかなあ～？じゃがいももおいしそう

▲飲み放題のワイン。樽から直接のワインは格別！

▲5人の美しいワイン娘がまつりを盛り上げました

▲さわやかな秋空の下で飲むワインは最高

▲友達や家族との会話もはずみ笑顔があふれる

▲牛の丸焼きコーナーには長蛇の列。ワインをたっぷりかけて一段とおいしく

▼本格的なぶどうジュースも大人気。ハイ、おかわり

みんなのひろば

すてきな仲間たち

朝日町マラソンクラブ

酒豪、時に風になる集団！

私たちのクラブ員は、日頃一人で走っていますが、みんなが集まったときや、路上であった時などは「気持ちいい汗を流さないと１日が終わったような気になれないんだよな～！」と、合言葉を交わし、日々の充実感を味わっています。昨年の納会では初めて、山形駅からりんご温泉までの約35kmを走破することに挑戦しました。完走した後に飲むあのビールの味と言ったら格別です。喉の奥に染みついて忘れられない、あのビールの味を求めて今年もみんなで走る予定です。走り方にも、楽しみながらとか、頑張ってと様々ありますが、距離に関係なく目指すゴールは〝ひとつ〟しかないところがいいですね。皆さんも一度いかがですか。

新婚さん

宿　英幸さん
佐藤　純子さん

３年間の交際の末、７月に結婚した二人は、お見合いのときに、昔から知っている友達のような親しみを感じたそうです。つまり一目惚れだった訳です。

英幸さんは、友達と二人で牛乳の宅配を始めました。早朝２時に出掛け、８時過ぎに帰る大変な仕事ですが、自分の力を出せるやりがいのある仕事として頑張っています。純子さんは、大好物のなす漬けや、３日間食べてもあきないカレーを愛情たっぷりに作ります。朝日町のおいしいリンゴと新鮮な野菜が食べられることがうれしくて、長野県の両親にも送って喜ばれました。明るくて気さくな純子さんは、若妻会にも加入し、ママさんバレーもやりたいと思っていたのですが、４月出産予定ということで、残念ながら参加できなくなってしまいました。そんな純子さんに、英幸さんは「毎年１人ずつ、３人は産んで欲しい。本当は５人欲しい」なんて、当分バレーはお預けですね。

せんせいわかば保育園あ・の・ね

（保育園入所申請書類のことで）
保　母　「お家でお父さんの仕事が変わったとか、赤ちゃんが生まれたとかの人は？」
園児Ａ　「私のお母さん、赤ちゃん生まれるみたい」
保　母　「ほんと？」
園児Ａ　「だっておなかが大きくなったみたいだよ。いっぱい食べたから」
（食欲の秋の出来事でした）

となりのリンゴさん

作・ホリィ (82)

ひとことトーク

車いすバスケットボール国際公認審判員に

～日本に５人しかいない～

佐藤　光也さん
（小　原）

国際車いすバスケットボール公認審判員に合格しました。日本には、今回合格した二人を含めても、たった五人しかいないんですよ。

試験は九月に天童市で開かれた「国際車いすバスケットボール大会」と並行して行われました。私はオーストラリア対中国戦など二試合を審判したんですが、それを来日した四人の国際審判試験官が採点するんです。車いすバスケットボールの審判は、一試合で十キロ以上走るため、体力テストもあるんです。合格できてうれしかったですね。

これまでは、日本車いすバスケットボール連盟の公認審判員として、全日本選手権や選抜の審判もしてきましたが、来年のアトランタ・パラリンピックに、国際審判員として出場するのが私の夢なんです。

わが家のアイドル

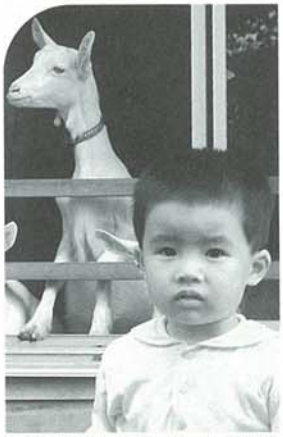
「強いおにいちゃんと一緒で～す」

安藤友哉ちゃん（４歳・杉山）
華奈ちゃん（２歳）
（両親は直喜さん・美紀さん）

「私、お山に登ったのよ」

五十嵐夏美ちゃん（３歳・舟渡）
（両親は修一さん・明美さん）

「ボクやぎさんと仲良しになったんだよ」



志藤由磨ちゃん（３歳・前田沢）
（両親は克美さん・美保子さん）

「ちょっとおすまし！」

村山奈津美ちゃん（３歳・常盤）
（両親は伸俊さん・ふじゑさん）

おじゃまします 社長さん

若月コーティング（西船渡）

社長　若月俊行さん
昭和27年４月21日生まれ
趣味　さしあみ（アユ）

粉体塗装をして、美しく仕上がった冷蔵庫内の棚など

製品を熱しプラスチックの粉の中に入れて塗装する

▼会社では、何をつくっているのですか。

営業用大型冷蔵庫内の棚や網、籠や図書館の本棚、門の部品などのコーティング（粉体塗装）をしています。製品を釜で三〇〇度に熱し、プラスチックの粉の中に入れ、さらに二〇〇度で熱して、美しく仕上げるんです。プラスチックの粉で、白色などに塗装しているんです。

▼会社の概要を教えてください。

昭和五十四年にコーティング業を始めました。東京の本社より松村製作所や山形市の大場製作所へ発注された製品の、最終仕上げコーティングで、県内でたった一件のめずらしい仕事なんです。

▼会社で自慢できることは何ですか。

従業員は家族全員なので、楽しく明るく仕事ができることです。時には急な納期で、夜も寝ずにという日もありましたが、全員の協力で納期に遅れることなく仕上げ、本社からの信頼も厚いようです。

▼社長がいつも心がけていることを教えてください。

最後の仕上げの仕事なので、特に細心の注意を払い、最高の製品になるよう心がけ、家族の和を大切にしています。

知事がワイン工場をふれあい訪問

県民の生の声を聞き、県政運営の参考にしようと九月十二日、高橋知事が侑朝日町ワイン工場を訪問しました。

この日は社長である清野町長が知事を出迎え、さっそく工場内を見学。ワインの醸造過程について説明を受けていました。

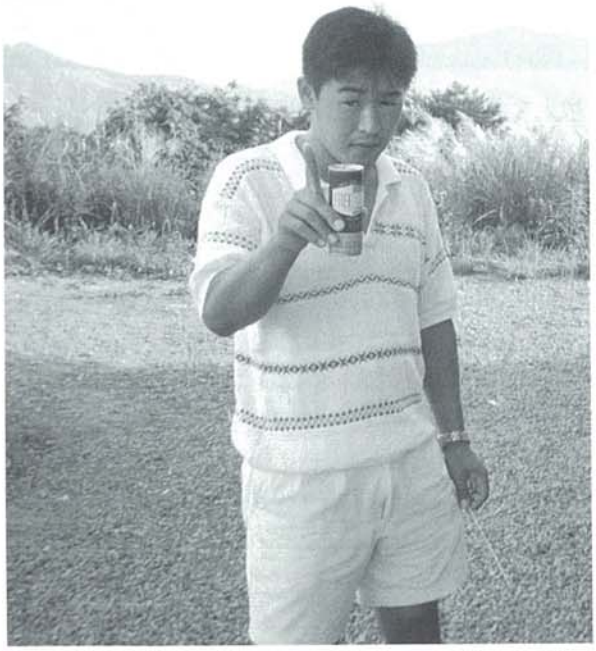
同社では東北の自治体として初めて、ブランデー製造に取り組んでおり、県の特産品にもなり得るものだけに、質問しながら真剣に見入っていました。

その後のワイン工場の人たちとの懇談では、高橋知事が「ワインのラベルに品種を明示した方が良い。その方がいかにも本物らしく、さらにおいしく感じます。ラベルはもう少し小さい方が良いのでは」とアドバイス。

ワインを試飲したり、期待されるブランデー製造などについて、ワイン工場の人たちと直接意見交換をしていました。

青春インタビュー

〈プロフィール〉
佐藤寛治さん（23歳）
小原・射手座・O型
㈱清野組勤務



Q趣味・特技は
子供の頃から釣りが大好きで、よく友達と行きます。スポーツも好きで野球をしたり、地元のスポーツ少年団にバスケットボールを教えたりしています。

Q休日の過ごし方は
最近、悪い友達に誘われて覚えた競馬とパチンコに、ちょっと夢中になっています。勝ったら止められなくなりますね。子供が好きなので、よくおいっ子と遊んでいます。休日は上山か、家でゴロゴロのどちらかですね。

Q今、してみたいことは
あてもなく、一人でぶらぶらと旅行をしてみたいと思っています。それにはまず、お金をためよう…。

Q好きなタイプの女性は
理想はタレントの鈴木杏樹（あんじゅ）タイプなんですが、明るくて健康な女性なら文句なし。

Qどういう町にしたいですか
この町が好きだから、もっとイベントを増やして、「朝日町と言えばこれだ！」という、イメージづくりをやりたいですね。

松原
松尾和香子さん（上郷小3年）
葵ちゃん（5歳）
泰葉ちゃん（2歳）
清臣（おじいちゃん）さん（64歳）
昭子（おばあちゃん）さん（63歳）

わたしのおじいちゃん・おばあちゃん

わたしの家には、おじいちゃんとおばあちゃんがいます。おばあちゃんとおじいちゃんは、ホップとしそをうえています。おばあちゃんとホップの手つだいをしていると、「みはあんまりとらないんだよ。」と教えてくれます。わたしはくきなどをとるのがおそいのにおばあちゃんはとってもはやいです。おじいちゃんは、ときどき、わたしたちをくすぐったりします。わたしは、二人が大すきです。

―和香子―

図書券が当たる 広報クイズ 今すぐ応募しよう！

【問　題】

問1 左の写真の花の名前は？（ヒント・町の花に制定されているよ）

問2 車いすバスケットボール国際公認審判員は、全国に何人いる？

問3 ワイン娘は全部で何人？

【応募方法】（10月31日締め切り）
ハガキに答えを記入し、住所・氏名・年齢・電話番号を書き添えの上、宮宿一一一五朝日町役場内「広報あさひまち」まで。正解者の中から抽選で3人の方に、図書券をプレゼントします。どしどしお寄せください。

【先月号の当選者】 鈴木智也さん（常盤）・佐藤仁美さん（沼向）・堀　浩司さん（舟渡）

【先月号の答え】 C　B

カヌーの醍醐味を満喫

最上川カヌーフェスティバル

最上川カヌーフェスティバルが九月十日、愛好者に穴場として人気上昇中の明鏡橋上流、通称タンの瀬で開かれ、カヌーのテクニックを競いました。

愛好者自らが実行委員会を組織して、町観光協会、県カヌー協会の後援を得て、初めて開催されたものです。東京、仙台、北海道などから三十四人が参加。自然の岩やブイなどのゲートを通過する「ファンスラローム」と、波を乗りこなす「ウェーブライディング」の二種目に、熱戦が繰り広げられました。

各選手たちは「ここはレジャーカヌーには、最高級のスポットです」と絶賛。豪快な水しぶきを上げながら、カヌーの醍醐味を味わっていました。

99歳 元気いっぱい 県知事より賀詞

敬老の日を前にした９月14日、西村山地方事務所長が町内の白寿者３人の家庭を訪問し、県知事よりの賀詞と記念品を贈りました。

白寿者のひとり、佐藤きくのさん（平）に長寿の秘訣を伺ってみました。「ほとんど好き嫌いなく食べますが、腹８分目が大切です。食事を３回きちんととり、ご飯は毎日同じ量を食べるんですよ。おかずは多くとっても、ご飯は多くとることはしません。特に納豆餅が大好物なんです。食べる時には、体に良い酢を入れて喉につっかえないように、自分で気をつけています。胃や血圧も良好で、内臓が丈夫だなぁって医者も驚くほどなんです。でも最大の長寿の秘訣は何と言っても、家の人が親切だから長生きできるんですよ」と笑顔で答えてくれました。

よくわかる「エコミュージアム」入門 ⑤

町の宝物を守り伝える

朝日町には、磐梯朝日国立公園のすばらしい自然やブナ林、国の名勝史跡の「大沼の浮島」、重要文化財の「佐竹家住宅」、県の文化財の「豊龍神社の大スギ」など国や県が認める貴重な文化財があります。

また、町指定の数々の文化財などもあります。これらはすべて町の宝物ですが、それ以外にも町民の宝物がいっぱいあります。能中の一本松、明鏡橋、栄町の種蒔き桜、最上川の景色、大谷・新宿・高田の町並み、杉山の水芭蕉、助ノ巻のいぼ地蔵など、昔の人々が大切にしてきた私たちの故郷の宝物が町には点在しています。

それだけではありません。お年寄りが今まで受け継いできた炭焼き、はた織り、酒造り、木工細工、漬物作り、農業技術など、いろいろ貴重な伝統技能があります。

これらのものは何げなく続いてきただけに、このままにしておくと無くなってしまうものも非常に多いのです。

エコミュージアムは、これらの昔の人々から伝わってきた自然、景色、技能等を大切に守り次の世代にまで伝えていこうとしています。私たちが祖先から受け取ったものを、未来のために残しておこうというのもエコミュージアムの考え方です。

（朝日町エコミュージアム研究機構）

水芭蕉（杉山）

若者に負けないぞ

高齢者ゲートボール大会

健康で生き生き暮らそうと９月27日、町高齢者ゲートボール大会が秋葉山グランドで開催されました。11回目となる今大会には、18チーム108人が参加し、優勝をめざし大奮闘。若者に負けない元気なプレーをしていました。

また、このほど行われた３級ゲートボール審判の試験に、朝日町から一挙に17人が合格。これまでにない快挙と大喜びで、さっそく今大会の審判員として「１番、第１ゲート通過」とはつらつとした声で、はりきって審判していました。

これを機にゲートボールの愛好者が増えるといいですね。

ばあちゃんの知恵袋 ⑥

あけびが豊富にでまわる季節、ちょっと珍しい「あけびの酢煮」をつくってみましょう。

＝材　料＝	
あけび	3 kg
砂糖600～700 g	
酢	300cc

①もぎたてのあけびを種をとってきれいに洗う。
②４等分に切る。
③切ったものをさっと湯がいてざるにあげ、水を切る。
④あけびに砂糖と酢を入れ、落とし蓋をして10分くらい強火で煮、あとは弱火でコトコトと汁気がなくなるまで煮ます。

【ワンポイントメモ】

酢を入れるので、きれいなオレンジ色になります。ちょっと小さめのあけびの葉を添えると素敵です。また、皮のきれいなものの方が仕上がりが良いようです。誰にでも簡単にでき、苦みもないので子供でもおいしく食べられ、あけびの意外な味が楽しめます。

遠藤ふみ江さん（栗木沢）

あけびの酢煮

各種大会成績

第６回朝日町民グラウンドゴルフ大会

（９月15日　朝日自然観）

■総合優勝
斎藤　安男　（常盤）

■男子の部
１位　斎藤　安男（常盤）
２位　渡辺　隆生（前田沢）
３位　阿部　弘美（長沼）

■女子の部
１位　橘　すみよ（常盤）
２位　長岡ちはる（太郎１）
３位　漆山　孝子（常盤）

■小学生の部
１位　佐竹　晃典（常盤）
２位　漆山　雄也（常盤）
３位　阿部　浩明（今平）

第28回町民ロードレース大会

（９月24日　大谷地区）

■小学男子（２km）
１位　鈴木　明人（前田沢）８分05秒
２位　菅井　一道（沼　向）８分18秒
３位　阿部　祐也（太郎一）８分18秒

■小学女子（２km）
１位　熊谷　明子（新　宿）８分15秒
２位　佐藤　友美（沼　向）８分48秒
３位　清野奈津美（小　原）８分55秒

■中学男子（３km）
１位　菅井　正貴（　宿　）13分07秒
２位　長岡　拓也（大暮山）13分25秒
３位　阿部　晃佳（八ツ沼）13分42秒

■中学女子（２km）
１位　菅井　美香（大　隅）９分03秒
２位　佐藤　織恵（　平　）９分19秒
３位　大沼とも子（前田沢）10分00秒

■親子の部（２km）
１位　鈴木　和男（元　町）８分59秒
　　希衣子（宮小４年）
２位　安藤　茂雄（松　原）９分00秒
　　茂昭（上郷小４年）
　　文紀（　〃　１年）
３位　阿部　千尋（夏　草）10分56秒
　　智晃（西小２年）

■高校・一般男子（10km）
１位　阿部　弘美（長　沼）35分48秒
２位　志藤　靖則（能　中）36分31秒
３位　嶋乃木　覚（山辺町）38分26秒

■高校・一般男子（５km）
１位　長岡　和久（大暮山）18分03秒
２位　成原　孝一（前田沢）21分19秒
３位　熊谷　貞則（新　宿）21分41秒

■広報あさひまち　第467号　平成7年10月15日発行　■発行　山形県朝日町　■編集　朝日町広報委員会／山形県西村山郡朝日町大字宮宿1115　☎0237(67)2111　■印刷　豊田太印刷所

こせきのまど

■9月1日～30日届出

すこやかに

（出生届）

区名	出生児氏名	父名
常盤	阿部愛美	秀紀
大沼	白田愛美	幸男
元町	志藤友美人	進
高田	佐竹真紗歩	剛
大谷三	白田梨果	弘美
常盤	阿部果香	哲
西町	三浦朝日葵	浩一
大谷一	志藤向俊佑	幸次
大町	鈴木	俊一

おしあわせに

（婚姻届）

長岡和広	♥	峰田みゆき		
石須部		滋賀県		
阿部安松	♥	鈴木理恵		
宇津野		西町		
柴田明	♥	岸千春		
前田沢		山形市		

やすらかに

（死亡届）

区名	死亡者氏名	世帯主
古槙	清野重男	正男
太郎一	長岡はる	武見
大滝	柴田清五郎	克已
大谷一	長岡好三	秀一
川通	志藤花子	博喜
大谷二	白田吉蔵	敏美
太郎一	長岡ヤス	善和
松程	長岡かちの	榮治

人口と世帯数

●平成7年9月30日現在

人口		10,043(増 1)
	男	4,992(増 2)
	女	5,051(減 1)
世帯数		2,576(増15)

（ ）内前月比

わたしの作品

〈大谷小学校〉

「かみなりさんは雲の上でなにしてる？」
1年　すずきわたるくん

「おにやんまがせい虫になったぞ」
3年　志藤　雄人くん

「緑にかこまれた、ぼくらの学校」
5年　小嶋　紘太くん

「りんごの皮むき」
6年　和田　哲生くん

コスモスが美しい　朝日自然観

秋風にゆれてピンク色などの可憐なコスモスが、美しさを競うかのように朝日自然観の周りに咲いています。一度あなたも訪ねてみませんか。

春夏秋冬

編集後記

▼先日、芸工大の先生の紹介で、中国の方がわが家を訪れました。りんご温泉や空気神社、りんご畑などを案内したら、「すてきな町ですね」と、大変喜んでくれました。▼授業参観をさせてもらった宮小では、児童たちも「ニイハオ」と元気にあいさつ。中国について質問したりして交流を深めました。▼ところで、中国では「手紙」と書くと、トイレットペーパーのことらしい。日本と違うが、その字から何となくその意味が分かるような気がする。（安藤）

広報「あさひまち」は再生紙を使用しています。